

第四十四回帝國議會
衆議院

特許法改正法律案外四件

特許法改正法律案
實用新案法改正法律案
意匠法改正法律案
商標法改正法律案
辨理士法案

委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十年二月二十五日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

島田 俊雄君 今泉嘉一郎君 北井波治目君
松實喜代太君 野副 重一君 塚原 嘉藤君
福井 甚三君 矢野 丑乙君 木下十四三君
麓 純義君 宮崎三之助君 出口 直吉君
淺賀長兵衛君 鶴澤 宇八君 鈴木久次郎君
野村 嘉六君 清瀬 一郎君 森下龜太郎君
出席政府委員左ノ如シ

農商務次官

特許局長

田中 隆三君
宮内國太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

特許法改正法律案

實用新案法改正法律案

意匠法改正法律案

商標法改正法律案

辨理士法案

○委員長(島田俊雄君) 是ヨリ委員會ヲ開キマス、前回
ニ續イテ質問ヲスル譯デアリマスガ、此五ツノ法案ヲ通ジテ
大體質問ノ尙ホ殘テ居ル方ガアリマスナラバ、其方カラ先
ツ願ヒタイト思ヒマス

○福井甚三君 政府委員ニ一寸御致シタイノデスガ從
來發明特許出願者ガ其審査ヲ受ケ、特許ノ許否ヲ受ケマ
スニ多クノ日子ヲ要シ、事ニ依リマシテハ數年モ掛シテ非常
ニ困ラデ居ル事ハ周知ノ事實デアリマス、近イ例ヲ申上デマ
スレバ、昨年ノ十一月八日付、受付番號六二二九二號、六
二八一九號ノ出願ヲ致シマシタニ就テ、本員ハ特許局ニ參
リマシテ御尋ヲ致シマシタ所ガ、其審査ニ若手スルノハドウ
シテモ來ルハ九月ノ頃ナラデ出來ヌト云フコトデアリマスガ、
本改正案ガ成立致シマシタナラバ、遅クモ其年ノ初メニ出
願シタモノハ年度内ニ審査ヲ爲シ、特許ノ許否ヲ御與ヘ下
サルコトガ出來マセウカドウカト云フコトヲ御尋致シタイノ
デアリマス、第二ニハ大正八年度ノ特許、實用新案、意匠
等ノ出願件數ガ五万七千五百二十九件アリマシタガ、其
中特許或ハ登錄ヲ爲シタモノハ一万八千五百八十四件ト
ナッテ居リマシテ約三割デアルガ、是ハ悉皆審査済ノ上ニッ
レソレ確定セラレタモノデアリマセウカ、又ハ審査未了ニナッ

テ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ御尋致シタイノデアリマス、第
三ニハ從來ノ特許審査決ヲセラル、ニ當リマシテ、其審査決書ニ
間々誤字脫字ガアリマシテ、此誤字脫字ノ爲メニ其特許ヲ
受ケル要所ヲ外シテ居ルノデアリマスガ、折角發明家ノ苦
心サレタ結果ヲ打消ス事ガアリマシテハ、甚ダ遺憾千萬ト考
ヘマス、故ニ之ヲ訂正ヌハ増補致シマスニ就テ、即チ抗告審
判ヲ請求スルニ際シマシテハ、更ニ印紙ヲ貼用セズ請求スル
コトガ此改正案ガ成立致シマシタ場合ニハ出來ルデアリマ
セウカ、其點ヲ御伺致シタイノデアリマス、其實例ハ抗告審
判番號五百一號ニ於ケル實例ガアルノデアリマス、一應
此三點ヲ御伺致シタイノデアリマス

○宮内府府委員 唯今御尋ノ第一點デゴザイマスガ、從
來非常ニ審査ガ遅レテ居リマシテ、其爲メニ出願者ニ對シ
マシテ非常ニ迷惑ヲ掛ケマシテ、元々發明ハ一方ニ於キマシ
テ獎勵費ヲ出シテ居リマシテ、成ベク優秀ナ内容ヲ具ヘタ物
ガ出來テ來テ、更ニ産業ガ發展致シテ行クヤウニト云フコト
ヲ希望致シテ居ルノデゴザイマス、發明者ガ折角苦心ノ
結果ニナリマシタ所ノ獨創ノ產物ヲ成ベク迅速ニ明瞭ニ
審査ヲ致シテ、權利者ニ權利ヲ與ヘ延テ産業ノ保護ヲ致シ
タイト云フコトガ當局ニ於テモ考ヘテ居ルノデゴザイマス、
然ルニ從來ニ於キマシテハ色々ノ原因カラ致シマシテ、或ハ
豫算ノ制限ヲ受ケルナリ、或ハ人ノ少ナクタ爲メニ其運ビ
ニ至リマセヌコトハ當局ノ甚ダ遺憾ニ感ジテ居ル事デゴザイ
マス、此改正案ガ幸ニシテ通過致シマシタナラバ、昨日モ次
官ヨリ縷々申上デタ清瀬君ニ對スル御答辯ノ中ニモアリマ
シタ通り、隨分局員モ増加シテ貴フト云フヤウナ計畫モ立
テ、居ルコトデゴザイマス、一面ニ於テハ出願公告ヲ致
シマスカラ、其間二箇月間異議ノ提議ノ期間ヲ置イテゴザ
イマスノデ、是ハドウモ致方ナイト致シマシテモ、餘程其點ニ
重キヲ置キマシテ出來ル限リノ手段ヲ執リマシテ、公平ニ迅
速ニ運ビタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、大
正八年度ニ於キマシテ登錄ヲ致シマシタ其殘リハ、只今審
査中デアルカドウカト云フ御尋デアリマシタガ、此點ハ只今
其殘部ニ就テ調査ヲ致シタモノヲ持ッテ居リマセヌノデゴザ
イマスガ、察スル所、一部ハ審査ヲ致シマス、或ハ一部ハ尙
ホ懸案ニナッテ居ルコトデアラウト思ヒマス、若シ御必要ガゴ
ザイマスレバ早速調査ヲ遂ゲマシテ、近イ内ニ差上ゲマシテ
モ宜シウゴザイマス、第三ノ點デゴザイマスガ、此點ハ特許局

ガ誤字脫漏ニ依リマシテ審決ヲ致シマシタ場合ニ於キマシ
テハ、金ヲ取ラナイデ、モウ一遍仕直スカト云ウニ云フ御尋デ
ゴザイマスガ、其點ハ誤字脫漏ト申シマシテモ、其間ニ餘程
程度ガゴザイマス、同ジ誤字脫漏デアリマシテモ、一旦
審決ヲ致シマシタモノデゴザイマス、或ハ此誤字脫漏ト
云フ事ガ單純デナイ場合ガアルカモ知レマセヌノデ、旁々簡
單ニ御答申上ゲマスコトハ、一寸困難カト考ヘマス、故ニ、事
實ヲ見テ果シテ權利ニ影響ヲ及ボスノデアルカ、或ハ誤字脫
漏ト申スコトガ同程度デアルカト云フコトヲ、能ク審議
ヲ遂ゲマシテ御答シナケレバナラヌノデアリマス、物ニ依
テハモウ一遍審判ヲ仰グトカ云フ手續ヲ執ッテ裁カネバナラ
ヌト思ヒマス、一様ニハ申上ゲ兼ネルコト、思ッテ居リマ
ス

○野村嘉六君 田中農商務次官ノ御出席ヲ求メマス

○委員長(島田俊雄君) モウ一度催促致シマセウ

○宮内府府委員 モウ直グ見エマス

○鈴木久次郎君 大體ノ事ニ就テ一寸御尋致シテ置キ
タイノデアリマス、此法案ハ多年ノ懸案デアリマシテ、農商
務省ニ於テモ、慎重審議ノ結果、此成案ヲ得タ譯デアリマス
カラ、此改正ノ必要ナコトハ無論認メルノデアリマシテ、從來
ノ法案ニ比シテ、幾段ノ進歩デアルコトハ議論ノナイコトデ
アラウト思フノデアリマス、唯昨昨日御説明ニモナリマシ
タ通り、特許局ノ非常ナル龐大ナル計畫ノヤウデアリマシテ、
經費ノ如キモ二倍、若クハ三倍ヲ要スルヤウニナリ、或ハ特許
局院トスルト云フヤウナ御考モアルヤウデゴザイマス、之ヲ
完全ニ遂行スルニハ、サウ云フ計畫デナケレバナラヌヤウニ考
ヘマスガ、併シ左マデノ大擴張ヲセズ、左マデノ大經費ヲ要
サナクテ、幾分人員ヲ増スト云フヤウナ方法デ、澤山ナル經
費ヲ要サズシテ、本案ヲ實施スルト云フコトハ出來ナイモノ
デアルカ、今日政費ノ龐大ハ、朝野何レモ心配シテ居ル所ノ
問題デアリマシテ、事柄ガ假令良イカラト申シテ、直チニ大
經費ヲ要スルト云フ事ハ、餘程考ヘナケレバナラヌコト、モ
存ズルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ大擴張ヲセズシテ、此
法案ノ趣旨ノ實行ノ出來ルヤウニ出來ナイモノデアリマセ
ウカ、要スルニ餘リ經費ヲ使ハズシテ此案ノ實行ガ出來ルヤ
ウニハナラヌノデアラウカ、斯ウ云フ點ニ於テ御尋致シタイノ
デアリマス

日ニシテ、法制局ノ人ハ相當ノ專門家ト云フコトハ出來ナ
イ、專門家ヲ除外シテ六十日ニシタコトハ甚ダ可笑シイ、今
日ノ政府委員モ矢張三十日説ニ御同意ヲラウト思フ、是ハ
政黨政派ニ關係スル問題デハナイ、全ク法律ノ規定ニ屬ス
ルノデアリカ、ドウカ政黨政派ノ超越シテ斯ウ云フ法律ノ
期間等ニ就テハ、所謂最モ特許關係者ノ利益ヲ圖ルコト云フ
意味合ニ於テ、サウシテ政府ノ腹藏ナイ意見ヲ聽カシテ裁
キタイ、デ政府ハ私ノ考ヘ通りデアリカ、私ニドウモ田中君ヲ
會長トシテ遣ラレタ特許辦理審議會ノ案ガ最モ宜イト思
フ、時代ニ適應シタモノト思フ、ソレヲ一夜造リデ六十日ト
シテハ惡イト斯ウ考ヘルガ此點ヲ……

○田中政府委員 御答致シマスガ、只今野村君カラ御質
疑ニ就キマシテ色々御述ニナリマシタ通り、大體ニ於テ其通
リデゴザイマセウ、併ナカラ一ツ辯明スルノデアリマセウガ申
上ゲテ置キマスガ、私ガ當局ニナリマシタノハ昨年ノ六月デ
ゴザイマシテ、丁度只今ノ問題ヲ議スルコトハ私ハ與テ居
リマセヌ、犬塚君ガ委員トシテ其議ニ參與シテ居ラレタサウ
デアリマス、私ガ此期限ノ延長云々ノ討論ニハ與テ居リマ
セヌ、ソレカラ先年私衆議院議員トシテノ野村君ト共ニ改
正案ヲ出シタトキノ色々御言葉モアリマシタガ、其時ハ此期
限ノ問題ハ此改正ノ條項ノ中ニゴザイマセヌ、其時ハ問題
ニナレタ居リマセヌ、ソレタケハ念ノ爲メニ御斷リシテ置キマス、
ソレカラ結局其當時ノ議論ハ前申上ゲル通り私ハ與テ居
リマセヌガ、後デ承ル所ニ依リマスレバ段々議論ガゴザイマシ
テ、長イ方ガ宜イ、短イ方ガ宜イト云フ議論ガアッテ、結局短
クシタガ宜カラウト云フコトデ、委員會デハ三十日ト云フコ
トニ決マタト云フコトモ事實デアリマスカラ、其法案ガ法制
局ニ廻リマシテ、法制局ノ意見ガアッテ結局六十日ト云フ
此成案ノ通りニナタト云フコトモ其通りデゴザイマスガ、實
ハ其六十日ト云フコトハ、現在ノ法律ノ通りトスウ云フコト
ニナルノデアリマス、現在ノ法律ガ六十日デアアルノハ半分ノ
三十日ニスルカシナイカト云フ問題ナンデ、所ガ其結局三十
日ト云フコトヲ主張スル根底ハ、現在ノ訴訟法カラマア出
テ來ル譯ナンデアリマスガ、此特許局ノ方ニ於テ民事裁判
所ト違フト云フ事情ハ確カニアルノデアリマス、ドウ云フ譯
デ違フト云フ裁判所ハ大審院ニ於テハ別問題デアリマス
ケレドモ、主トシテ裁判事件ガ起ルトキニ訴ヘル所ハ全國各
地ニ別々ニ澤山アル、管轄區域内ニ住シテ居ル人ハ近ク便
利ナ裁判所ニ訴ヘル譯ニナル譯デアリマス、所ガ特許ノ問題
ダケハ東京ニ一箇所アルデゴザイマシテ、皆東京ト云フ
所マデ遠方カラ集テ來ナケレバナラヌ、又殊ニ是等ノ仕事
ニ就テ堪能ナ辦理士等ニ相談スルト云フデモ多クハ東京
ニ居ラレト云フ譯デ、遠方ノ此特許局ニ關スル出願請求

ヲセントスル人ノ爲メニハ、普通民事事件ニ就テ裁判所ニ訴訟
スルト云フコト、餘程其事情ガ違テ居リマス、是ダケハモウ
確カナ事實デアアル、デ今一ツハ特許ノ事ハ今ノ民事訴訟ノ
如ク管轄區域内ト同ジ事デ、其管轄區域内ノ事ハ尙ホ一
層民事訴訟ヨリモ非常ニ擴ゲラレテ、例ヘバ朝鮮ノ人或ハ
臺灣ニ居ル人、ソレ等ノ人ガ矢張特許ノコトニ就テ色々請
求ヲシヤウト言フデモ矢張東京ニ寄ラナケレバナヌノデアリマ
ス、サウ云フ人ノ其便宜ヲ圖ルコト云フ上カラハ民事訴訟
ヨリハドウモ期限ヲ少シ緩メテ置カケレバナラヌト云フ理
由ハ確カニアルノデアリマスカラ、今一ツ野村君モ引合ヒニ
出サレテ居リマスガ、此民事訴訟ニ就キマシテハ八里ヲ一日
デゴザイマスガ、遠方ノ人ノ爲メニ八里ヲ一日ニ計算シテ、サ
ウシテ此三十日ト云フ期間ノ外ニ六十日ニモ五十日ニモ
延バス途ガアルノデゴザイマス、所ガ此特許ノ方ハ決メタ期
日ヲ其以上ニ延バス方法ガナイノデアリマス、サウ云フヤウ
ナ關係モアリマスノデ、旁々ハ現行法ノ通りニシテ置ク方
ガ宜イデヤナイカ現行法ヨリモ尙ホ切詰メナケレバナラヌ特
殊ノ理由ガナイデヤナイカト云フノデ、結局法制局ニ於テ其
通りニ決マリマシテ、農商務當局ニ於テモソレニ同意シタノ
デアリマスケレドモ、成行ハモウ前ニ申上ゲル通りノ次第デ
ゴザイマシテ、是非トモソレモ三十日デハイケナイトカ、六十
日デナケレバドウシテモイカストカ云フヤウナ、ハッキリシタ捉
ヘ所ガアル譯デナイノデアリマスカラ、皆サンノ御審議ノ模様
ニ依ッテ何方ガ宜イカト云フコトハ公平ニ御判斷シテ戴クヨ
リ外ニ途ハナイト思ヒマスケレドモ、ドウモ私共モ目ヲ閉ヂテ
考ヘテ見マス、ドウモ民事訴訟ヨリハドウモ長クシナケレ
バナラヌト云フ理由ノ方ガドウシテモ強イヤウニ考ヘル、前
申上ゲル通り民事訴訟ノ一日八里ヲ延バスト云フコトモナ
シ、總テノ事件ガ皆東京ト云フ中央ノ一箇所ニ訴ヘルヨリ
途ガナイ、裁判所ノ數十箇所ノ各々近イ場所ニ訴ヘルト云
フノトハ違フ、ドウシテモ延バスト云フ理由ノ方ガ強イ、ドウ
モ少シ延バス方ガ理由ガアルヤウニ思ハレハ、ソレ故ニ法制
局ノ審議ニモ吾々當局トシテ同意シタル意見ナンデアリマス、
洵ニ強クハハ非常ナル大事件トシテ是非共ニ是デナケレバナ
ラヌト云フ譯ニ主張スル譯デモナイノデアリマス、篤ト一ツ御考
慮ノ上ニ然ルベク御審査アラント云フ御願ヒ致シマス

○野村嘉六君 議論ハ致シマセヌガ、質問ノ關係上一口
更ニ伺ッテ置カケレバナラヌ、此事實上ノ問題ニ就テハ、只
今ノ田中次官ガ、犬塚君ノ時代デアルト申サレマシタガソレ
ハ其通りデアリマス、併ナガラ免モ角モ此方ノ專門家ガ寄
テタカッテ、サウシテ是ガ三十日デ宜イト斯ウ決ッテ、其後
ヲ引繼カレタコトデアリマスカラシテ、無論御同意デアッタ
ウト斯ウ思ッテ居リマス、ソレニ東京ニ一ツシカナイト云フコ
トデアルガ、是ハ尤デアアル、特許局ト云フモノハサウ幾ツモナ
イ、東京ニ一ツシカナイト云フコトハ、大審院モ一ツシカナイ
筈デアアル、最モ大審院ハ上告スルニ色々ノ方面カラ遣ッテ來
ナケレバナラヌ、サウシテ大審院ニ對スル訴訟期間ハ三十日
間デアアル、ソレカラ又大審院ハ即チ此關係辯護士等ハナイ
デヤナイカト云フ議論ガアルガ、矢張大審院モデス、法律爭
ヒデドツチカト申シマスルト云フト、法理專門ノ方ノ大審院
ノ事件ダケヲ多ク扱ッテ居ル人ノ方ガ、ドウモ都合ガ宜サ、
ウニ思フ、ソレデアアルカラシテ是モ特殊ナ理由ニハナラヌト思
フ、ソレカラ今一ツハ八里毎ニ一日ト云フ猶豫期間ノ御話
デアリマシタケレドモ、是ハデス所謂何處ニ居ラウガ發送——
發信主義デアアルノデアリカシテ、假令五百里先ニ居ラウガ、
九州ノ端ニ居ラウガ、北海道ノ端ニ居ラウガ、詰リ言ヘバ三
十日間ト云フコトニハ少シモ内ハ入ルコトハナイ、北海道ヲ
發信シテソレガ東京ヘ著クノ二百日掛カラウガ、ソレハ差支
ナイコトニナッテ居ルノデアリマスカラシテ、此點ハ所謂八里
毎ニ一日ト云フコト、少シモ變ラヌコトニナッテ居ル、故ニ此
點モ今次官ノ心配サル、ヤウナコトハナイト思フ、ソレカラ
又舊法ニ斯ウナッテ居ルカラシテ、現行法モト云フコトデアリ
マスケレドモ、此所ガ其政府委員ト吾々ノ見解ガ違フ所デ
アリマシテ、舊法ガ宜シイト云フヤウナ意味合ナラバ、一ツノ
官制デ審判機關迄モ設ケテ改正ノ點ヲ定メル必要ハナカッ
タ、舊法ガ宜シイト云フノナラバ、斯ク迄ニ政府委員モ心配
サレテ特殊ノ法制調査會ノヤウナモノヲ設ケル必要ハナイ、斯ウ
云フ點ガ改正ヲスル必要ガアレバコソ、茲ニ於テ審査會モ設
ケタンデゴザイマセウ、即チ進歩シタ制度——時勢ニ順應シ
タ制度ヲ履行スル爲メ——實行スル爲メノ規定デアアル、ソコ
ハ吾々ト政府委員ト根本的ニ相違スル、他ノ關係カラ申シ
マシテモ同ジ權利ノ保護デアアル、民事上ノ權利ノ保護ガ吾
吾々ニ必要デアアルナラバ、特許ニ於ケル權利モ矢張必要デア
アル、必要カラ見タナラバ其人ニ依ッテ利害ハ違ヒマセウガ、サリ
ナガラ私權ヲ保護スルト云フコトニ於テハ均一デナケレバナ
ラヌ、特殊ノ特許ニ就テハ豫期ノ期間取得ト云フ理由ハ
發見センノデアアル、況ヤ前半ニ申シマシタ通り、特許ト云フ
問題ハ多クハ此民事、刑事ト云フ問題ガ附隨シテ居ルノデ
アリマス、特許ガ一年掛カレバ民事ガ一年、刑事ガ一年掛
ル、詰リ言ヘバ特許ノ審査期間ハ短イ、普通ノ民事ナラバ一
年デ總テ解決スルガ、特許ニ關聯シテ造ルモノダカラ三年モ
掛ル、ソレデアリマスカラシテ人民ノ權利ガ其間中止サレデ、
特許權者カラ申シマシテモ、請求者カラ申シマシテモ、丁度
三倍、比較的長イ間權利ノ行使ガ不安定ノ狀態デアアル、斯
ウナッテ居ル、政府委員ハ強テ意見ヲ主張セヌデ善イ方ニ贊
成スルト云フ御意見デアアルガ、政府ノ一部ノ專門家ガ御拵

ニナタモノヲ、法制局が改訂サレタナラバ、専門家が持ヘタト云フ意味ニ於テ先ノ方ガ宜シイ、又面目問題モアリマセヌカト思フ、ソレデアラカラシテ三十日ノ方ガ善ササウニ考ヘル、ソレカラ先キハ議論ニナルカラシテ申上ゲマセヌカ、成ベク先ノ特許局主管ノ説ニ賛成ヲ願フデ置キタイ、更ニ何ヲテ置キタイノハ

○委員長(島田俊雄君) 大體ニ就テデスカ

○野村嘉六君 民事訴訟法ニ關係アルカラシテ……ソレカハ是ハ矢張大體ニ就テノ問題デアラガ、此特許局ニ於テハ此場合ニ依ルト云フト特許局長ガ職權ヲ登錄ヲ取消スコトガアルデアラ、是ハドウ云フ譯カト云フニ、詰リ此權利ノ消滅ニ關係スル問題デアラノデ、詰リ特許局長ノ職權ノ範圍如何ト斯ウ御聽取ヲ願ヒタイ、此案ニ依リマスルト云フト、特許局長ノ職權デ此登錄ヲ取消スコトガ出來ル、ソレデハドウ云フモノデアリマセウカ、特許局長ノ職權トシテ與ヘラレタモノヲ、特許局長ノ自由裁量ノ下ニ取消スコトハフコトハ、一ツノ設定權限ヲ輕シヤセヌカト思ハレル、是ハ即チ當事者ノ權利ヲ尊重スル意味ニ於テ、審判ニ依テウシテ取消シタ方ガ宜ササウニ思フ、又之ヲ他ノ民事刑事ニ見マシテモ、本人自ラ訴訟ヲ取ダゲルト云フコトハアルガ、其他ハ決定、命令、判決、詰リ一種ノ判決ニ屬スル所ノ決定ガ、命令判決力、是等ノ機關ニ依テ訴ヲ取上ゲルトカ、取消シタトカ云フトニ總テサレテ居リマシテ單ニデス、裁判長獨斷ヲ遺ルト云フヤウナ場合ハナイヤウニ思フ、居ル、假ニアテモ極ク少イ思フ、居ル、是カラ總テ特許、商標ノ關係ハ非常ニ重クナリマシテ、サウシテ生産事業ヲ發展サセラル上ニ於テモ、是等ノ商標等ハ最も注意ヲシテ權利ヲ尊重シテヤラナレバナラス、現ニ當局ガ此案ヲ御出シニナッテ、又後カラ豫算ヲ御出シニナルト云フコトデアリマスガ、大體擴張セラレノハ是モ必要ト思ヒマスガ、此際ニ於テ重大ナル權限ヲ特許局長ニ附與スルト云フコトハ如何デアラウカ、他ノ法律關係カラ見マシテモ何方カラ見マシテモ、此點ニ於テハ恐ラク田中政府委員ハ必ズ御贊成デアラウ、又御贊成デナケレバナラスト思フ、是カラ先ハ申上ゲマセヌケレドモ是ダケ伺ッテ置キマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、是モ其期間ノ問題ノヤウナモノデ、大キク考ヘルト大キクナリマスケレドモ、實ハ今日現在ノ法律ニハ職權ニ依テ取消ス場合ハ、大分廣クテ居ルデアリマス、ソレデアリマスカラ其中ノ重要ナリト認メタコトハ、今日ノ職權制度ヲ廢メマシテ、矢張此審判ニ依テ取消スコトニ修正致シマシタデアリマス、唯タ僅カ——其實カラ申シマスレバ一ツニナリマスガ、殆ド一項

ニ書イテアルヤウナコトデ、簡單ナコトデ、所謂商標權其モノノ實質ニ入ラナイ問題デ、簡單ナ問題デ、一年以上使ハナイトカ、三年以上中止シタトカ云フ、多クハ是ハ外國人等ノ持ッテ居ルヤウナ場合ニ起ララウト思ヒマス、無論日本人デモ起リ得ルノデアリマスケレドモ、サウ云フ簡單ナ事實デアデ、又明瞭ナ事實アル時ニヤルノデアリマシテ、サウ云フモノヲ取消スニハ審判スルト云フヤウナ憶効ナ手續ヲシナイ方ガ便利デアラウ、商標權者ノ爲メニ却テ其方ガ便利デナカラウカ、斯ウ云フヤウナ極ク簡單ナ意味デ、職權ノ方ニ殘シテ置イタ譯ナデアリマス、併シ前御斷リ致シタ通り、今日ノ職權ニアルコトデモ、商標ノ内容ニ立入ルヤウナコトハ無論審判ノ方ニ讓テアル譯デアリマス、是モ一年以上使用シナイトカ、三年以上中止シタト云フヤウナ事柄モ、其調査上ニ就テ大ニ重要ナルコト、認メテ、審判ノ手續ト云フ極ク鄭重ナル面倒ナル手續ニ依ラナケレバナラスト云フ皆様ノ御意見デアルト致シマスレバ、殊更ニ之ヲ以テ政府大ニドウデモ斯ウシナケレバナラスト主張スル問題デモナカラウト思ヒマス、篤ト實際ノ事情ニ應ジテ御審議下サルコトヲ希望致シマス

○野村嘉六君 只今ノ事ニ就テモ、ドウデモ宜シイト云フコトノ御意見デアリマスガ具體的ニ申シマスルト云フト、此取消ノ方デアリマスガ——特權ガ此法文ヲ見マスルト云フト、政府ノ方デハ簡單ト仰シヤイマスケレドモ、吾々ノ見ル所ニ依ルト云フト、矢張是ハ相當必要ナ事項デ重大ナル問題デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘマス、是又民事訴訟法カラ見マシテモ、訴ノ取下ト云フモノハ法律ヲ以テ一年間許シテ置クト云フ規定ガアリマス、或ハ裁判所長ガ勝手ニモウツ——之ヲ取下ゲテモ宜カラウト云フヤウナコトニナルト、非常ニ迷惑スル、裁判長ガ勝手ニ取下ノ出來ナイ規定ガ書イテアルカラ、人民モ安心シテ居ル、サウデナクシテ事ニ依ルト云フト、特許局長ノ考テ取消シテシマハウデヤナイカト云フ考ヲ起サレテ、取消ヲサレタナラバ甚ダ迷惑デアラウト斯ウ思フ、成タク權利ハ十分ニ尊重スルト云フコトニシタ方ガ宜ササウデ、或ハ特許局長ノ權限——詰リ權利ノ消長問題デアリマス、特許局長トシテハ不平等アルカモ知レマセヌケレドモ、斯ウ云フ事ト云フモノハ國民ノ總テノ利害ニ關係スルノデアリマスカラ、恐ラクハ田中政府委員モ之ニハ御贊成デアアル答デアラウト私ハ思フノデアリマス、定メシ特許法審議會ニ於テモ、此議論ガアタコトデアラウト思ヒマス

○田中政府委員 一寸御答致シマスガ、不都合ナル特許局長ガ出來マスルト、御心配ノヤウナコトモアリマセウケレドモ、其御疑念ニ及ブアイト思ヒマス、殊ニ訴願ノ規定ヲ殊更ニ此處ニ列ベデアリマスルノデ、サウ云フ場合ハ農商務省

ナリ、上級ノ官廳ニ訴願スルコトガ出來ル譯デアリマスカラ、矢張是ハ極ク簡單ナコトデアリマスカラ、此方ガ便宜デアラウト云フ斯ウ云フ立方デ出來テ居リマス、政府案トシテ今日御協賛ヲ願フデ居リマス、私カラ贊成ト云フコトハ有難イコトデアリマスガ申上ゲ兼ネマス、前申上ゲマシタ通り、殊ニエライ大事ナ非常ニ重要ナ之ヲ爭ハナケレバナラスト云フ問題デモナイダケハ今申上ゲタ通りデアリマスカラ、實際ノ事情ニ應ジテ十分ニ皆サンノ御審議ヲ煩ハシタイト思ヒマス、却テ此方ガ便宜ダラウ、問題ハ簡單デアラカラ商標其モノノ内容ニ至ッテハ是ハ商標ノ價值ガアルトカ、ナイトカ云フコトノ非常ニ六クシイ問題ニナリマス、サウデナイ譯デアリマスカラ、又サウ云フ事實ガ極メテ顯著デ、確實ナ場合デアレバ、特許局長トシテモ是ハ實行ノ出來ナイコトダラウト思ヒマス、顯著ナル場合ニ於テハ、斯ウ云フコトハサウ憶効ナ手續デナイ方ガ宜クハアルマイカ、殊ニ先程申上ゲタ通り別ニ外國人ノ虐待スルト云フ意味デアリマス、ソレデモ、殊ニ外國人ナドガ日本ニ於テ商標ナドヲ持ッテ居ル、ソレハズニ居ル場合ハ却テ簡單ナ手續デ取消シタ方ガ便宜ノコトデアラウト云フ考デアリマス、宜シク御審議ヲ煩ハシタイノデアリマス

○野村嘉六君 此問題ニ就テハ矢張實際ノ事情ニ應ジテ審議スルヤウニト云フコトデアリマス、私方ニ於テモ此點ニ就テハ審議致シマス、更ニ特許ノ根本問題デナケレバナラス、特許權限問題デアリマス、矢張普遍的ノ全體ニ對スル問題デゴサイマス、此特許ノ存續期間デアリマス、特許權ハ特許ヲ得タコトニ對シテ十五年ナラ十五年ハ專賣權ヲ與ヘル、サウシテ詰リ特許ノ功勞ニ酬ユル、斯ウナデ居ルノデアリマシテ、是ハ特許權者ニ取ッテハ最も重大デアル、又最も必要ナコトデアル、所ガ之ニ對シテ此案ヲ見マスルト、其延期ヲ許スコトガアルト云フ規定ガアリマス、即チ特許權ノ期間ノ消長ニ關係スル大ナル問題ト思フノデアリマス、ソレハ三年以上十年以下延長スルト云フヤウナ意味デアル、私ノ調ベタ程度デハ世界中デ斯ウ云フコトヲシテ居ル所ハ全クナイノデアリマス、ソレカラ此特許者二十五箇年ナラ十五箇年特許權ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ一面カラ言フタナラバ、特許ヲ獎勵シテ其人ニ特殊ノ利益ヲ與ヘルト云フコトナラ當然デアラガ、一面カラ言フト、サウ云フコトヲシタ結果、特許ノ進歩發達ヲ阻得スルコトニナル、何故ナラバ其人ガ十五箇年ナラ十五箇年、權利ヲ持ッテ居ル、隨テ他ノ人ガ同一特許ニ改訂修補、或ハ新ラシイ意見ヲ持ッテ居ルデモ、或場合ニ於テ特許サレヌコトガ多イ、ソレカラ又其物ガ普遍的ニ販賣サレタナラバ、各人ノ便利ハ非常ニ多イ、特許權者ノミニ依ッテ、販賣サレルト云フコトハ需要者ニ於テ不便デ

アル、特許權者ヲ保護スルコト云フコトノ社會一般ノ利益ヲ保護スルコト云フコトハ、ドウシテモ此際ニ於テ前後撞著スルニ相違ナシ、兩方共ニ並進シテ利益ヲ得ルコト云フコトハ困難ナル、是ハ已ムヲ得又話アリマスガ、此點ハ常識ニ訴ヘテ、サウシテ社會ノ進步ニ考ヘテヤラナケレバナラス、十五年間モ其人ニ利益ヲ得サシテ保護シタ上ニ更ニ三年以上十年以下之ヲ延長スルコト云フコトニナレバ、非常ナ利益ニナテ居ル、此處デ申シテ置キタイノハ、一體延長ヲ請求スル特許ト云フモノハ、利益ノアル時ニ限リ、利益ノ無イモノナラバ期限ガ來テソレ切リ決シテ延長シナイ、或ハ當局ニ於テ延長スル理由ハ十五箇年ダケハマダ十分其人ノ發明ノ勤勞ニ酬ユルコトガ出來ヌト云フ意味デ、御許シニナル考デアラウケレドモ、事實ハ反對デアル、何故ナラバ十五箇年モ使テ、尙三年以上十年以下ノ延期ヲ求メルト云フノハ、儲ケガ澤山アデ其儲ケハ非常ニ都合ガ好イカラ延期ヲ求メル、理窟トシテサウデアルガ、又實際トシテモ今日延期ヲ求メテ居ル特許ト云フモノハ、世ニ有名ナル特許デ、十五年間ウント儲ケテ、尙ホ其上儲ケタイト云フ連中ガ非常ニ多イ、サウスルト儲ケルモノダケヲ厚ク保護シテヤルト云フコトニナリハセヌカ、當リ前カラ言フト特許ノ期限ヲ短カシテ、社會一般ニソレヲ利用、サシタ方ガ、社會ノ公益上最モ宜イノデアル、所ガ其結果ハ反對ニナテ來ル、斯ウナッテ參リマス、特許ノ權限消長問題デアルカラ、根本論トシテ御尋スルノデアリマスガ、是モ私ハ餘計ナコトデアリハセヌカ、斯ウ考ヘルノ利益ヲ得ル者ニ益、厚ク利益ヲ得ナリ者ニ薄イト云フ結果ヲ來シハセヌカ、是ハ根本義ニ於テ重大ナル問題デアリマスカラ、一ツ政府ノ御意見ヲ伺テ置キタイ

○田中政府委員 御答致シマスガ、詰リ特許ノ期間延長ヲ止メタラドウカト云フ御意見ノヤウニ伺ヒマスガ、是ハ矢張現行法ニアリマス通り、延長ヲ許ス場合ヲ規定シタ方ガ、世ノ中ノ實際ニ適應シヤシマイカ、斯ウ云フコトデ現行法ノ通りニシテアルノデアリマス、ソレカラ是ハ矢張外國ニモ例ガアリマス、現ニ英吉利ノ如キハ昔ハ七年乃至十四年ト云フ延長ヲ許シテアタノデアリマスガ、現行法ニ於テ五年乃至十年ト云フコトニナテ居リマス、日本ニ於テ延長ヲ許ス場合ハ、特ニ勅令ガ出テ居リマシテ、此度ノ法律ニモ勅令ノ定ムル所ニ依テ、三年以上十年以下之ヲ延長スルコトヲ得ルト云フコトガ書イテアリマス、ドウ云フコトヲ勅令デ規定シテ居ルカト申シマス、重要ナル發明デアリマシテ、特許權者ニシテ正當ノ理由ニ依リ、特許權存續期間内ニ、其發明ニ依リ相當ノ利益ヲ得ルコト能ハザリシ場合ニ於テ、其延長ヲ出願スルコトヲ得ルト云フコトニナテ居リマス、今御尋ノ如ク儲ケタ上ニ尙ホ儲ケヤウト云フノデナシ、其反對ニ儲ケルコトノ出來ナカッタモノ、ソレハドウ云フコトカト云フト特許ニ關係ノアル方ハ、モウ十分御承知デアラウト思ヒマスガ、折角苦心ヲシテ特許權ヲ得マシテモ、特許發明ヲスルト云

フ人ハ、資力ニ於テハ何時モ不如意ナ人ガ大多數デアル、資力本家ガ發明ヲスルト云フヤウナコトハナイ、發明ヲスル者ハ多ク皆財產上ニ於テハ不如意ノ人デアリマス、ソレデ資本家ヲ得テ其發明ヲ實施スルコト云フマデニハ、モウ五年ヤ十年ハ直グ經テシマフ、永イ間苦シシテ漸ク資本ヲ得テ、ドウヤラ斯ウヤラ是カラ一ツ世ノ中ニモ認メラレテ仕事ニ掛ル所デ、モウ期限ガ來ルト云フヤウナ誠ニ哀シナ者ガアル、サウ云フ者ハ其狀況ニ依テ相當年限ヲ許シテヤル方ガ却テ實際ニ適スル、所謂發明ヲ獎勵スル意味カラ期限ヲ許ス方ガ宜カラウデハナイカ、斯ウ云フ立方ニナテ居ルノデアリマス、ケレドモ其法律ヲ實施スル局ニ當ル者ガ、其法律ヲ惡用致シマシテ、儲ケタ上ニ儲ケサセルト云フヤウナコトヲスルノハ、是ハ亂暴ナ話デ、詰リ法律ニ正面カラ背イタコトニナルノデアリマスカラ、ソレヲ以テ御論議下サルコト云フコトハ、甚ダ迷惑致シマス、法律ノ趣旨ハサウデナイノデアリマス、ソレカラ今日迄ノ實例ニ依リマシテモ、是ハ減多ニ許シマセヌノデアリマス、今申上ゲル通り重要ナル發明デナケレバナラヌト云フコトガ第一ノ條件、第二ニハ今迄實施シテモドウシテモ相當ナ收入ヲ得ルコトガ出來ナカッタト云フ、確的ノ證據ヲ舉ゲテ來ナケレバナラヌノデアリマスカラ、減多ニ之ニ當嵌ルノハアリマセヌ、又數モサウ餘計ゴザイマセヌ、御手許ニ差出シテ居リマス表ノ中ニゴザイマスガ、明治四十二年カラ大正八年迄ノ間ニ願デ來タモノガ幾ツアルカト云フ、六十五件シカナイ、尤モ是ヒラ段ヲ特許年限ガ迫テ來マスカラ、數ハ殖エサセウと思ヒマスケレドモ、今日迄ノ數ヲ申シマスレバ六十五件願タ中ニ、何件許シシカト申シマス、十三件シカ許可シナイ五分ノ一シカ許可シテ居リマセヌト云フヤウニ餘程鄭重ナ審議ヲシテ居ル次第デアリマス、法律ノ趣旨ヲ能ク汲ンデ活用致シマスレバ、特許ノ發明獎勵等ニ實益ノアル規定デハナカラウカト思ヘラマス、而シテ其年限ヲ幾ラニスル何年ニ延バセバ宜イカト云フコトニ就テ、是モ別ニ何年デナケレバナラヌト云フ譯デモナイノデアリマシテ、頗ルムツカシイノデゴザイマス、ソレニ就テ今野村君カラ何モカモ審查會ノ内情ヲ御承知ノ上ニ御質問思ヘラマスノデ、内情デアリマスケレドモ申上ゲマスガ、矢張審查會ニモ其說ガ起タノデアリマス、ドウモ三年乃至十年ト云フコトガアルト、特許局ノ官吏ノ手加減デ厭ヤナ者ニハ拒絕スル、好イ者ニハ十年モヤル、三年五年一方ニ斟酌出來ルヤウナコトデハ非常ニ困難ト云フノガ第一ノ苦情デアル、中ニ議論ヲ戰ハセタノデアリマスケレドモ、私が實ハ仲裁論ヲ唱ヘマシテ、官吏ノ左右スルコトヲソレ程御心配ニナルナラハ、一層三年十年ナドト云フヤウナ幅ノ廣イ規定デナシニ、許スナラ五年ナラ五年ト決メタラ宜イグラウト云フコトデ、皆ザンモ御異議ガナイヤウナ様子デ、先ヅ其時其委員會デ五年ト決メタラデアリマス、ソレカラモウ一ツノ期限ノ延長ヲ止メタイト云フ議論中ニ、所謂重要ナル發明ニハ延期ヲ許ス、斯ウ云フ規

定デアル、重要ナル發明ト云フト、西洋人ノ發明ノ方ガ重要ナモノガ多イ、寧ロ此規定ニハ外國人ヲ保護スルヤウナ規定ニナランカト云フ、エライ日本ノ發明家ヲ貶シ議論ガアリマシタ、是モ或ハサウ云フ實際カモ知ランケレドモ、内外ニ依テサウ云フ區別ヲ立テルト云フ必要モナイコトニ思ハレル、ソレカラ又外國人ノ發明ニ對スル取扱方日本ノ發明ニ對スル取扱方ト、何カ一ソシナコトヲシテナラヌト私ハ思ヒマスケレドモ、假ニダ何等カノ政策上多少ノ手加減ヲ用ユル方法ガ國家ノ爲メ必要ナリト云フ、假ニサウ云フ論ガアルトスレバ、此規定ガ何トナテ居ラウト其事ハ出來ル、サウ云フ問題ハ此際理由ニシナクモ宜イデナイカト云フ内輪話ガアリマシテ、ソレハ主タル議論デハゴザイマセヌ、唯ダ特許局トシテ手加減ノ範圍ガ廣過ギルト云フ場合ニ、ソコハ五年ニシタラドウカト云フノデ、農商務省ノ草案ニハ五年トナテ居リマシタ、之ガ法制局ニ廻テ審議シテ居ル間ニ、發明ノ種類ニ依テ重要ト云フデモ重要ノ中ニ程度モアラウ、利益ガ舉ゲタカ舉ラヌカト云フコトニ依テ延長ヲ許スト云フ立方ニナテ居ルカラ、サウスルトマルデ一寸モ舉ラヌ缺損バカリシテ居ル者ニハ、是等ノ者ニハ或ハ十年モ許サナケレバナラヌトキガアルカモ知ラヌ、投資ノ半分以上回復シタ者ニハ五年カ六年デ十分ダト云フコトモアラウ、理論上カラ現行法ノ通り三年乃至十年ト云フ風ニシテ置イタ方ガ實際ニ適シハナイカ、斯ウ云フ理由デ矢張現行法ノ通りニ改メタラシムカ、此點モ今申上ゲル通りノ事情デアリマスカラ、十分ニ御審議ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○野村嘉六君 細カイ事ハ逐條審議ノ時述ベマスガ、注文シテ置キマス、六十三件ト云フ條延長ヲ申請シテ、其中十三件許サレタ、其十三件ト云フ特許デアルカ、ソレヲ次回デ宜シウゴザイマス、一々ソレヲ十三件タケ御聽キ申シタイト云フノハ、私ノ間イタ所デハソレガ最モ利益ノアル特許デアル、斯ウ云フコトデアリマシテ、今田中政府委員ハ詰リ發明ノ苦心ニ對シテ勞力並ニ費用モ償フコトガ出來ヌ、ソレガ爲メ法律デハ三年乃至十年ト云フ特別ノ期限ヲ設ケテ、所謂損害ヲ補償サセル意味デアラ、實行ノ趣旨ハ私モ政府モ矢張同意デアル、併ナガラソレガ應用サレルトキニハ正反對ニナル、イカヌ奴ハ十五年デ切テシマフ、好イ奴ダケハ今少シ儲ケヤウ儲ケヤウトスルモノハ、三年五年トシタノハ是ハ實例ガ示シテ居ル、議論ト立法ノ趣旨ト正反對ノ結果ヲ來シテ居ルコトヲ立證シテ居ル、次回迄二十三件ノ内容ノ關係ヲ御示ヲ願ヒタイノデアリマス、今一ツ序ニ申シテ置カナケレバナラヌト云フノハ、請託ガ行レハセンカト云フコトヲ懸念スルト云フ御話デアリマスガ、ソレハ請託ト云フコトハ公然言フベキコトデナイ、併ナガラ三年乃至十年ノ間ノ期間ノ延長或ハ短縮ハ、當局ノ自由裁量デアレバ、而モ其特許ガウント儲ケルト云フト、其場合ニ請託懸念ガドウモ生ジテ困ルノデアリマス、又風説デアリマスガ、私ハ何ノ何人ト云

フコトハ間カスケレドモ、從來サウ云フコトガアタト云フ風
説ハ屢、耳ニシテ居ル、ソレハ特許局ノ特許期間ハ、審査會ニ
於テ田中次官ヲ會頭ニサレテ其審査會ニ於テ述ベラレタ通
リ、五年ト打切ルカ、ソレデナクハ期限全部ヲ縮小スルカ
ト云フ趣旨ガ、大體ニツアル、不正請託ト云フ不正行為ヲ
防グ、今一ツハ利益ヲ得ル者ニ尙ホ利益ヲ得セシメルコト
ハ、社會一般ノ需要者ヲ困難セシメルコト云フ二ツガ根本ニ
ナッテ居ルト思ヒマス、今申シマス通り私ハ十三件ノ内容ヲ
御示ヲ願ヒタイ、其他ニ於キマシテハ條項ニ互ニ問題デアリ
マスカラ、私ハ其機會ニ申シマシテ、大體ノ質問トシテハ是
デ切ッテ置キマス

○田中政府委員 一寸御答シテ置キマス、只今ノ御請
求ノ表ハ直グ出来マスカラ明日差上ゲマスソレカラ延長ノ
コトニ就キマシテハ、成ベク過ノナカラコトヲ欲シマシテ、今
日デハ特許局ノ官吏デケテ自由ニ處分ノ出来ナイヤウニ
審査委員ト云フモノヲ設ケマシテ、現在デハ私が審査委員
長ト云フコトニテ居リマス、委員會ノ議ニ附シテ、サウシテ
許否ヲ決定スルコトニ致シテ、鄭重ナ手續ヲ執ッテ居リマス
ノデゴザイマスカラシテ、萬間違ナシ積リデ居リマス、ドウ
外部カラモ十分御監督ヲ願ヒタイコト、思ッテ居リマス、ソ
カラ先程鈴木サンカラ御尋デゴザイマシタガ、特許局ノ經費
ノコトデゴザイマスガ、現在ノ收入ノコトハ御手許ニ收入一
覽ト云フモノヲ差上ゲタモ、中ニゴザイマス、ソレカラ支
出ノ方ハ今度ノ十年度ノ豫算ガ四十五萬圓餘ニナッテ居
リマス、ソレノ差引タケガ國庫ノ益金ノ形ニナッテ居リマス、
此度ノ計畫實施ニ伴フ大體ノ豫定案ハ五十四萬圓許リニ
ナッテ居リマス、現在ノ經費ト合セマシテ九十八萬八千餘圓、
約九十九萬圓バカリニナリマス、特許局トシテ農商務省ト
シテノ希望ハモウ少シ多ウゴザイマシタ、百二十萬圓バカリ
デアタカト思ヒマスガ、色々大藏省ト交渉ノ結果、削減サレ
マシテ段々切詰メル點モ出来マシタ結果、今申上ゲマシタ通
リ、唯今略、内定致シマシタ總金額ガ約九十九萬圓バカリ
ニナリマスガ、尙ホ此上ニ臨時費トシテ建物ヲ建テナケレバ
ナリマセヌ、ソレハ極々假普請デ只今ノ建物ノ空地ノ所ニ三
十萬圓バカリ臨時費ヲ御願致シマシテ、建増シテ致スコト
ニナッテ居リマス、前申上ゲタ九十八萬八千餘圓ハ經常費
ニ屬スルモノデ、其他ニ臨時費ガ三十萬圓要リマス

○出口直吉君 特許院ノ計畫デサウナルノデスカ
○田中政府委員 左様デス
○森下龜太郎君 私人ノ全部公告シテ、其特許ニ對シ
異議ノ申立ヲサシムルト云フ、之ニ就テ少シ疑フ有シテ居
リマス、特許ノ出願ガアッテ其出願ニ對シテ特許スル前ニ出
願ノ大體ヲ公告シテ、一般公眾ニ斯様ナ特許ノ出願ガアッ
タト云フコトヲ知ラセ、ソレガ他ノ國民ノ利害ニ關スルコトハ
ナイカト云フコトヲ公知スル機會ヲ與ヘルト云フコトハ、極
メテ公正ノ手續ニ相違アリマセヌ、又特許法ニ於テ頻出ス

ル無効審判ナルモノ、紛爭ヲ減少スル效力アリト云フコト
モ私ハ之ヲ否定スルモノデハナイノデアリマス、併ナガラ無
効審判ト爭議ナルモノガ、特許ノ數ニ對シテ、非常ニ多イノ
デアレバ、其無効審判ノ爭議ヲ減少スル目的ノ爲メニ、特
許スベキモノト見タルモノ、若クハ少クモ特許ヲ拒絕スベ
キ理由ヲ發見スルニ至ラザリシモノヲ、悉ク一般ニ公告スル
ト云フコトモ、必要カモ知ラセヌガ、若シ特許ノ數ニ對シ
許シタルモノニ對シテ無効審判ヲ起ス數ガ極メテ少クモ
ノデアレバ、其少數ノモノ、爲メニ總テモノヲ公告ニ付ス
ルト云フ煩雜ナル手續及ソレニ要スル費用、其費用ナルモ
ノハ何人ノ負擔ニ歸スルカト云ヘバ、是ハ皆出願人ガ全部
負擔スルモノト思ヒマス、特許局ガ會計ノ獨立ト云フコトヲ
理想トスルト云フコトヲ御説明ニナタ、其意味カラ申シマス
レバ、其費用モアリ、ソコ、私ノ御尋シタイと思フハ、添付
サレタル表ニ依リマス、最近十年間ニ於ケル特許出願ノ
數、ソレニ對シテ特許セラレタ數ガ、明確ニ現レテ居リマス、
大正七年ニハ千六百五十三件許可ニナッテ居リ、八年ニハ
二千五百件トナッテ居リマス、ソレニ對シテ無効審判ナルモノ
ノ數ガドレ程アルノデアルカ、二十件モ、三十件モ無効審判
ガアルト云フコトデアレバ、ソレヲ減少スル爲メニ、特許前
當リテ總テモノヲ公告スルト云フ必要ガアルカモ知ラセ
ヌガ、僅カニ二件カ三件ノモノナレバ、ソレヲ防止スル爲メニ
總テモノヲ公告ニ付シ、其費用ヲ出願人ニ負擔セシムル
ト云フコトハ、美ニ懲リテ、餘ヲ吹クノ類デハナイカト思フ
デアリマス

○田中政府委員 御答致シマス、實ハ御質問ノ通り頗
ル之ガ爲メニ經費モ増ス譯ニナリマス、餘程考慮ヲ要スル
問題デアリマス、併ナガラ是ハ殆ド世界ノ大勢トモ申スベ
キ規定デアリマス、獨逸、奧地利、英吉利、和蘭、其他ノ特許
法ニハ此制度ガ既ニ戴ッテ居リマス、ソレカラ又巴里ノ經濟
會議デアリマスガ、聯合國ノ會議ニ於テモ特許ヲ與ヘルト
ダッテ、第三者ニ異議ノ申立ヲナスコトニ許スノ件ト云フコト
ガ一ノ議題トナッテ居リマシタ、各國モソレハ必要ナリト認
メテ略、同意ヲシテ居ル譯デアリマス、萬國——世界ノ共通
ノ特許法ヲ作ルト云フ意味ニ於テモ、此規定ガ必要ナルモ
ノト當局ニ於テ認メタヤウナ譯デアリマス、ソレカラ總テ權
利ト云フモノヲ與ヘタ後トデハ、中ニ取消スト云フコトハ困
難ナモノデアリマシタ、法律ノ規定ノ上ニ於テハ異議アレバ
審判ヲ請求スル途モアリマスガ、一旦與ヘタ特許ヲ取消スト
云フコトハ、餘程手續ヲ掛ケ、難義ヲシテ初メテ目ヲ達ス
ルノデアリマス、特許ヲ與ヘル以前ニ取消スノハ宜イガ、一旦
得タ權利ヲ取消サル、ト、非常ニ迷惑ナコトニナル、豫メ是
等ノ方法ニ依リテ念ヲ入レテ、其發明ニ對シテ特許ヲ與フル
コトニ異議アル人ニ、異議ノ申立ヲスル途ヲ開クト云フコトハ
異議ヲ申立テル人ノ爲メニ便宜、又大キク考ヘルト、特許
ヲ貰フ人ノ爲メニ便宜、規定ト認メマシテ、少々ノ經費
ニ代ヘ難キ重大ナ事ト認メタ譯デアリマス、ソレカラ今御尋

ノ中ニ、與ヘタ特許ノ中、無効ニナタモノ、數、割合ノ御尋
ガアタヤウデスカ……

○森下龜太郎君 無効ノ數デハアリマセヌ、爭議ノア
タ——無効審判ノ爭議ニナタ數デス

○田中政府委員 ソレハ取調ベテ特許ニ就テ何程、商標
ニ就テ何程ト云フコトガ分ルト思ヒマス、數字上ノコトハ後
デ調ベタモノヲ差上ゲマス

○森下龜太郎君 ソレニ就テ、私ハ外國ノ例ハドウナッテ居
ラウガ、外國ノ例デモ宜イ例ナラバ追ハネバナリマセヌガ、國
民ノ負擔ハ總テノ點ニ於テ輕イ狀態デハナイノデアリマスガ、
殊ニ先程政府委員ノ御説明ノ通り發明考案ニ關スル
所ノ人達ト云フモノハ、財政上ニ就テ裕カナ狀態デナイト云
フ事ガ多イ、サウ云フ人ノ總テノモノヲ拒絕スベキ理由ガナ
イト云フ場合ニ於テ、總テ公告シテ異議ノ申立ノ機會ヲ
與ヘルト云フコトハ、餘程出願人ノ負擔ヲ増ス所以ダト思
ヒマスカラ、ソレガ餘程ノ效力ガアルト認メラレルカラ、新
規ノ規定ヲ設ケラレル事ヲ宜シウゴザイマス、結局
爭議ノ目的トナル場合ガ極メテ少數デアルト云フコトナラ
バ、私ハ寧ロ此規定ハ何等カノ他ノ方法ニ於テ緩和スル途
ガアリハシナイカト思フ、只今政府委員ノ御説明ニハ一旦
許可ヲ與ヘタ後ニ於テ、其無効審判委員ノ御説明ニハ一旦
ナ事デハナイト云ウコトデアル、成程ソレハ容易ナ事デハアリ
マス、併ナガラソレハ總テノ事ヲ無効審判ト云フ方法ニ
依ラシムルガ故ニ、事ハ重大ナルノデアリマスガ、丁度裁判
所ノ決定ノ如ク、或ル場合ニハ再度ノ公判ニ於テ、ソレガ間
違ヒデアタト思フ時分ニ於テハ、何時デモ更正ヲ爲スコト
ガ出来ルト云フヤウニシタラ宜カラウト思フ、公告シテ總
テノ者ニ對シテ異議ノ申立ヲセシムル機會ヲ與ヘルト代ヘ、
現在ノ當局ニ於テ是ハ許可スベキモノト思フ時分ニハ、許
可ヲ與ヘルト云フコトハ許可シテ置イテ、サウシテ一箇月ナリ、
二箇月以内デアラバ、ソレニ對シテ異議ヲ言ウテ來タナラ
バ再度ノ公判ニ於テ是ハ拒絕スベキモノトナッタラバ、更
ニ許可ヲ取消スコトガ出来ルト云フヤウナ規定ニサレタナラ
バ、今日迄其弊ニ苦シンデ無効審判カラ生ズル弊害ト云フ
モノハ、幾分緩和スルコトガ出来ルト考ヘルトデアリマス、爭
議ノ有無ニ拘ラズ、全部之ヲ公告ニ付スル必要ハナイト考
ヘマス、併シ結局是ハ議論ハ互ルカモ知ラセヌカラ、其爭議
ノ數ト許可數トノ比例ヲ一ツ見マシタ上ニ於テ、更ニ
質問ヲ致シマス

○委員長(島田俊雄君) 一寸御諮リシマスガ、未ダ大體
ニ就テノ御質問ガ澤山アリマスデセウカ
〔大體ニ就テハサウ無イデセウト呼フ者アリ〕
○委員長(島田俊雄君) サウスレバ逐條審議ニ移リタイ
ト思フノデアリマスガ、今日ハ午後ハ本會議ガアリマスカラ
休ミマシテ、明日矢張午前十時カラ開クトニ致シマス、今
日ハ是デ散會シマス
午後零時四分散會